

令和3年中における特殊詐欺等の被害状況について

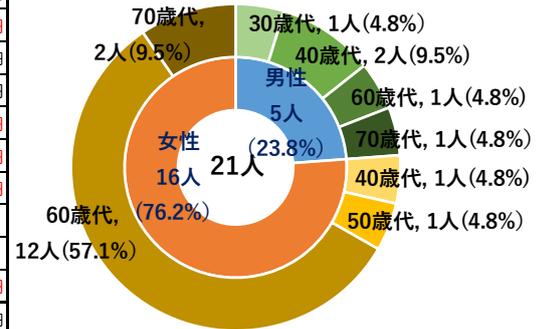
令和4年3月28日
警察本部

1 特殊詐欺の被害状況

被害状況	被害件数			被害金額			
	R3	R2	増減	R3	R2	増減	
特殊詐欺合計	21	28	-7	7,483万円	5,466万円	2,016万円	
手口別	オレオレ詐欺	2	2	100万円	404万円	-304万円	
	預貯金詐欺		7	-7	524万円	-524万円	
	架空料金請求詐欺	7	10	-3	6,218万円	4,123万円	2,095万円
	還付金詐欺	10	1	9	837万円	8万円	828万円
	融資保証金詐欺		1	-1	1万円	-1万円	
	金融商品詐欺		1	-1	20万円	-20万円	
	ギャンブル詐欺		1	-1	13万円	-13万円	
	交際あっせん詐欺						
	その他の特殊詐欺						
	キャッシュカード詐欺盗	2	5	-3	328万円	373万円	-45万円
年齢別	高齢者以外	9	11	-2	6,576万円	3,309万円	3,266万円
	高齢者(65歳以上)	12	17	-5	907万円	2,157万円	-1,250万円

※金額は全て千円以下四捨五入

被害者の男女年齢別(特殊詐欺全体)

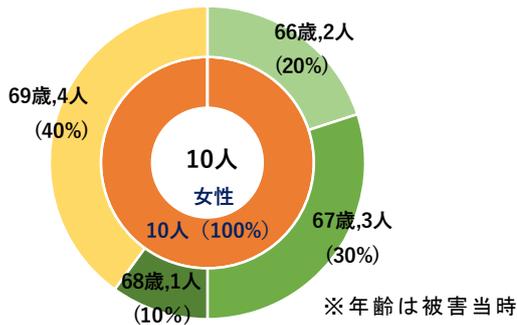


【特殊詐欺被害(全体)の特徴】

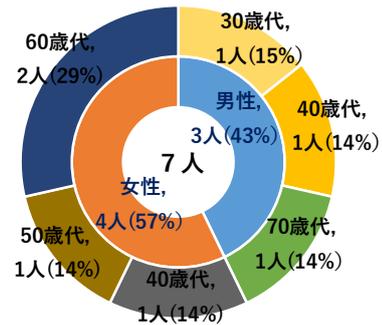
- 被害件数は減少(前年比-25%)
- 非接触型の手口(還付金詐欺、架空料金請求詐欺)の割合が増加(全体の81%)
- 高齢者の被害割合が高い(65歳以上は12人で、全体の57.1%)

2 還付金詐欺、架空料金請求詐欺の被害状況

被害者の男女年齢別(還付金詐欺)



被害者の男女年齢別(架空料金請求詐欺)



【還付金詐欺被害の特徴】

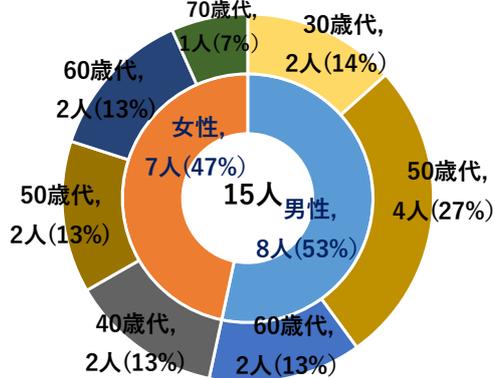
- 被害件数は10件(10人)で前年の1件から大幅に増加(前年比+900%)
- 全て「介護保険料」名目で、被害の端緒は固定電話
- 被害者は全員が女性で、被害当時66歳から69歳までの高齢者

【架空料金請求詐欺被害の特徴】

- 被害件数は7件(7人)で、前年の10件からは3件減少(前年比-30%)であるが、被害金額は約2,000万円増加
- 名目は「未納料金」や「パソコンのウイルス対策(サポート詐欺)」
- 幅広い年代で被害が発生

3 国際ロマンス詐欺の被害状況

被害者の男女年齢別(国際ロマンス詐欺)



【国際ロマンス詐欺被害の特徴】

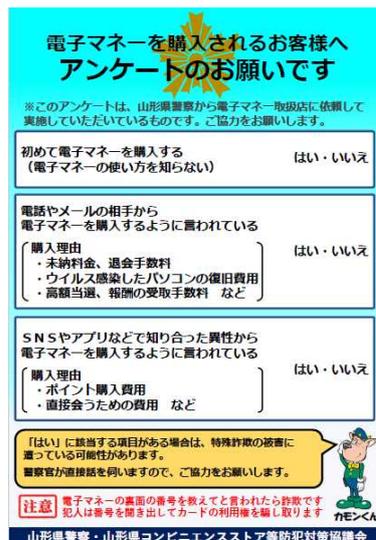
- ・ 被害者数は15人で、被害件数は17件、被害総額は約1億1,000万円
- ・ SNSやマッチングアプリが端緒であり、名目は投資や、荷物の配送料など
- ・ 昨年中の被害は、男女比が概ね半々で、被害者年代別では、50歳代や60歳代の割合が比較的多い

4 今後の被害防止対策

- ・ 金融機関におけるATM振込制限の対象年齢引き下げ
- ・ 金融機関、コンビニエンスストア等の事業者と協働した水際対策
- ・ 「やまがた110ネットワーク」による積極的な情報提供
- ・ 著名人を起用した訴求力のある広報啓発活動



ATM振込制限広報ポスター



コンビニ声かけ提示カード



特殊詐欺防止広報ポスター